

2022年3月17日(木)

※ 昨夜の地震は久しぶりに大きかったです。
電気・ガス・水道がすべてストップしました。
大地震に対する備えを強化しなければいけないと痛感した次第です。

① FOMC

米連邦準備理事会(FRB)は16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で短期金利の指標であるフェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を年 0~0.25%から同 0.25~0.50%に引き上げると決めた。

今回の0.25%の利上げ幅は市場の予測通りで、9人の投票メンバーの賛成多数で決めた。セントルイス連銀のブラード総裁は反対し、利上げ幅0.5%を主張した。

0.25%を1回として今回を含めて22年中に7回、利上げする想定を示した。

今回のFOMCは正副議長や理事、地区連銀総裁ら参加者16人がそれぞれ中期の経済・政策見通し(SEP)を示した。22年は計7回利上げするとの予想が中央値となった。前回予測を示した21年12月は計3回を見込んだ。22年中は3月を含めて7回のFOMC開催を予定しており、毎回連続で利上げする計算になる。

23年も3~4回の利上げを見込み、金利水準は2.8%まで上がると想定。

利上げ開始後、コロナ前の2倍の約9兆ドルに膨らんだFRBの保有資産を減らす量的引き締め(QT)に取り組む。前回QTは利上げ開始から2年近くたった17年秋に始めたが、今回は声明で「来る会合で削減を始めることを期待する」とした。パウエル議長は「早ければ次回5月の会合」で計画を決定する可能性を予告した。

パウエル議長はFOMC後の記者会見で「より早い引き締めが適切だという結論が出れば、そうするだろう」と語った。1回の利上げ幅を0.5%に拡大する選択肢にも含みを残した。米金利先物市場では5月と6月に控える今後2回の会合で、少なくとも1度は0.5%の利上げに動くとの予想が7割を超えた。

⇒ 利上げ幅が0.25%となり米国株価は大幅上昇。

FRBはインフレに対して極めてあまい見方を崩していません。

「史上最大のミスの一つとして記憶されるだろう」

まさにモハメド・エラリアン氏の言う通りだと思います。

インフレが加速し、どうしようもなくなって利上げを急ぐ姿が今から目に浮かびます。

NYダウ			34,063.10	▲ 1.55%	+518.76	H:34,075.94 L:33,391.24	03/16
NASDAQ			13,436.55	▲ 3.77%	+487.93	H:13,440.12 L:12,992.20	03/16
NASDAQ100			13,956.78	▲ 3.70%	+498.22	H:13,960.25 L:13,475.09	03/16
S&P500			4,357.86	▲ 2.24%	+95.41	H:4,358.90 L:4,251.99	03/16

② 米国債利回り

2年国債利回りは一時2%を突破。

5年国債と10年国債の利回りが一時逆転(逆イールド)しました。

米国景気大幅悪化を示唆しています。

米国債券2年利回り			1.942	▲4.58%	+0.085	H:2.002 L:1.833	05:59
米国債券5年利回り			2.183	▲3.25%	+0.069	H:2.240 L:2.090	05:59
米国債券10年利回り			2.188	▲1.31%	+0.028	H:2.246 L:2.135	05:59
米国債券30年利回り			2.457	▼1.85%	-0.046	H:2.540 L:2.427	05:59

③ 円全面安

米利上げを受けて一時1ドル=119円台に。

ただ、利上げ幅が0.25%だったことから、急速なドル高が一旦和らぎました。

ユーロ・ポンド・豪ドル・新興国通貨すべてに対して円全面安に。

豪ドルは、昨年10月の86.24円を上回ってきました。

90円台に向かうと思います。

人民元も18.67円まで上昇。

ウクライナのゼレンスキー大統領は16日のビデオ演説で、ロシアとの停戦協議について「交渉に現実味が出てきた」と語った。ロシアのラブロフ外相も同日、ロシアメディアに「歩み寄りの兆しがある」と述べた。和平交渉が前進している可能性がある。

このニュースを受けて、ユーロがわずかに10日間で124円台→131円台まで戻って来ました。

みなさん、しっかりと外貨を保有していただけましたでしょうか？

困ったなー 海外で購入した金貨の支払い額が増えるー





④ 原油 & 金

落ち着きどころを探っている状況です。

